

UP! Uozumi-higashi Press

魚住東中トリプルD < Dream, Design and Do it >

2017.7.20(木) 第4号

勇気と感動をもらいました あいありがとう!!

先月末より明石市に引き続いて東播地区の総合体育大会が行われました。全ての選手の活躍を観ることはできませんでしたが、応援に行くことができた全ての試合でみなさんの発刺かつきいきとした姿を見せてもらいました。試合前の緊張しながらも集中している姿や、試合中に歯を食いしばって全力でプレーしている姿に勇気と感動をもらいました。勝負事ですから勝者がいれば敗者もいます。最後まで勝ち続けて笑顔で次のステージへ駒を進めた選手もいますが、多くの選手が敗退しました。特に、3年生の選手はこの総体で負けると、大半が中学校での競技生活を終えることとなります。悔し涙を流す選手を励ます顧問の先生やコーチ、そして保護者の方々。それぞれが色々な思いでこの総体を終えたと思いますが、その後の学校生活においてさわやかに笑顔で学校生活を送っているみなさんの姿を見ると、気持ちを切り替えて次のステージへと進んでいけると信じています。3年生は進路の実現に向けて、1,2年生は自分たちが主力になるという自覚を持って、しっかりとやるべきことに取り組んでいきましょう。さらに、勝ち進んでいる選手は全力で県、近畿、全国をめざして頑張ってください。

<保護者のみなさまへ>

明日から夏休みに入ります。お子様には「夏休みのしおり」、学活、学年集会や終業式の話を通して、この夏休みに向けて心がけることを話しました。ご家庭におかれましては、「夏休みのしおり」をご活用いただき、お子様にとって有意義な夏休みとなりますようご指導をお願いいたします。また、水の事故や交通事故等が起こりやすいのも夏休みです。命の大切さを十分にお話いただき、くれぐれも事故やトラブルに遭わないようお子様に自覚を促してください。よろしく願いいたします。

南の国 サモア

教頭 小倉 寛樹

2011年の夏休みに、JICA(世界の開発途上国へ国際協力を行っている日本の組織)が募集していた教師海外研修に応募し、サモア独立国という国へ10日間行きました。南半球にある、人口が18万人ぐらいの小さな国です。明石市の人口が29万人なので、かなり小さな国なのが分かりますよね。興味がある人は、どこにあるかなど詳しく調べてみて下さい。

中学生の頃から海外で働くことに興味はあったのですが、なかなか機会がありませんでした。たった、10日間とはいえ絶好のチャンスだと思い申し込みました。サモアでは、現地の教育の状況や生活の様子などを視察しました。また、サモアの中学校、小学校で体育の授業もさせていただきました。サモアの学校には、日本のように施設や道具は整っていませんでしたので、いつもと同じような授業はできませんでした。でも、突然やってきた日本人が珍しいのか、きちんと指示を聞いてくれて楽しい授業ができたと思いました。他にもホームステイをしたり、村の長老たちの話を聞いたり日本ではできない貴重な体験がたくさんある研修でした。この研修の目的の一つに、日本に帰ってから日本の子どもたちに、国際協力の事について知ってもらおうという事もありました。そこで、帰国後、野々池中学校の生徒たちに、サモアの様子やこれから自分たちにできる国際貢献について総合の授業の中で考えてもらいました。野々池中の生徒たちも興味をもって授業に取り組み、多くを学んでくれたと思います。

さて、前置きが長くなりましたが、夏休みは普段できない事ができる時間や機会がありますよね。先生がこの研修に応募を決める前、行きたいという気持ちだけでなく、帰ってからの報告書や報告会が大変だなというマイナスの気持ちもありました。でも、行くなら今年しかないなと思い応募しました。何かに取り組むときには、自分に都合のいいことばかりではないかもしれないかもしれませんが、そんなことも受け入れて、自分の環境を少し変えることで成長があるのではないかと思います。2017年の夏休み、勉強に部活とやらなくていけない事がたくさんありますが、何か新たな挑戦の一步を踏み出してみてもいいのではと思います。2学期の始業式にいい夏休みだったと言えるように過ごしてくださいね。

